

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ウエルフェアネット	代表者	山城 裕美	法人・ 事業所 の特徴	家訓「あるがままに 楽しく ゆったりと」のもと、小規模で多機能なサービス提供を心がけ、細やかな対応を実践している。登録定員29名の内1日15名が通い、小規模である特徴を生かし、利用される方がこれまでの地域との繋がりを無くさず、習い事や地域のサロンなどを継続できるよう支援している。また、顔の変わらないケアが生かされ、地域に出た時に相談や要望が出るような関係性も出来ている。認知症になっても本人が望む暮らしが可能な限り継続され、家族・地域・事業所が協力をして、本人の安心した暮らしが継続できるように、今後もサービス提供を行っていく。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 さわやか憩いの家二日市	管理者	大塚 裕輔		

市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
1人	1人	3人	1人	1人	1人	0人	11人	0人	19人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・改善計画の張り出しを行い、意識して取り組めるように計画を立てて実行する。	・スタッフルームの扉に改善計画を張り出し実行した。		改善計画を張っておくと意識づけになるため、今年度も計画書を張り意識を高める。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域運営推進会議で声かけをし、喫茶いこいなど行事にお誘いし気軽に入れる事業所にする。	・喫茶いこいには包括支援センターの参加があった。	・利用者さんがお亡くなりになった時に家族が居る場所があることは良いと思いました。	日頃から立ち寄れる場所になるためにも喫茶いこいや行事へのお誘いをしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・公民館で行事予定を聞く、地域との交流ができるようにする。	・地域の祭りや子供みこしや防災訓練参加など利用者さんと参加を行った。	・公民館の秋祭りや子供みこしなど交流ができて良かったです。	地域交流を更に深める。公民館の行事に積極的に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域での催し物の案内があった時は利用者さんと参加する。	・秋祭りの参加など催し物には参加することができた。		地域運営推進会議で地域の参加行事での利用者さんの反応を伝える。またこども110番の家に登録したため、利用者さんの役割にも繋げていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・利用者のサービス内容についても地域に発信し理解してもらう。	・地域運営推進会議の時に利用者のサービスの内容の報告を行った。		利用者のサービス内容について具体時な場面含め分かりやすいように伝えていく。
F. 事業所の防災・災害対策	・地域の方に事業所の防災訓練参加の案内を行う。地域の防災訓練への参加の継続を行う。	・利用者と公民館の防災訓練に参加した。事業所の防災訓練にも地域から参加があった。		事業所の防災訓練参加の案内を行う。また地域の防災訓練への参加も継続して行っていく。

